

令和5年3月1日～令和6年2月29日

グローバル共創科学部 教授 須藤智

## (1) 研究計画の達成状況

### (研究概要)

超高齢社会、情報社会の進展とともに様々な新しい社会課題が生じている。それらの課題を解決する方法として情報技術の活用が考えられるが、現時点で様々な社会課題の解決は十分になされているとは言えない状況がある。

その原因として、(1)サービスに関わる新しい情報機器の高齢者対応が不十分であること。

(2) 情報技術を活用したソリューション（アプリ、サービス等）が高齢者の日常生活レベルでのニーズにあっておらず、ソリューション自体が高齢者対応できていないという問題が考えられる。

これらの問題を解決し社会課題へ取り組むためには、ステイクホルダーである高齢者市民・開発者・研究者らが協働・共創して、問題発見・解決目指した研究活動をしていく必要がある。

そこで、本研究では(株)KDDI 総合研究所との共同研究で、超高齢社会の社会課題のステイクホルダーら（市民、NPO 法人静岡団塊創業塾等）、開発者、研究者、行政等が協働できるコミュニティを設置し、そのコミュニティを通して、情報機器、情報サービスを活用した社会課題のソリューションの高齢者対応に関する研究を行う。

### (R5 年度の進捗)

具体的な進捗は、以下の通りである。本年度、KDDI 総合研究所チーム等との共同で戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」へ申請を行い、高齢者の就労について情報機器、情報サービスを活用した社会課題のソリューションに関する研究を行うこととし、外部資金に応募した。その結果採択されたので、研究を開始することとした。

## (2) 外部資金の獲得状況

### 令和5年度

1. 文部科学省 科学研究費 基盤 A（分担） 353,000 円
2. 内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」 直接経費 7,424,000 円、間接経費 1,113,600 円

以上